

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画書において、ニーズや目標の表現が職員目線になっている	介護計画において、利用者が主体であることを念頭に置き、利用者主体の書き方で介護計画を作成する	①全職員に介護計画の改善事項を周知させる 目的で勉強会を行う 年4回（3月・6月・9月・12月） ②カンファレンス時に利用者主体の介護計画になっているか、チームで確認を行う ③不備があれば適宜見直しを行い、修正を行う	12ヶ月
2	1	介護理念の「正しいケアより優しいケア」という表現が曖昧で誤解を招く可能性があるので解りやすく伝わりやすい言葉で実践できる理念を検討した方が良いのではないだろうか	全職員が「正しいケアより優しいケア」の意味を理解し、共通認識のもと説明が出来る	正しさを固定化しない 私達は今年度より、ケアの行動指針に「正しいケアより優しいケア」という指針を設定致しました。 誤解を招く表現ではありますが、日常の介護サービスの場面でありがちなケアの誤解を言語したものです。 認知症高齢者に、日常的に生活支援を行う中では時に「支援者にとっての正しいケア＝スタッフセンタードケア」という関わりになってしまいがちです。	1ヶ月
3				私たちは、自分たちの考える「正しさ」を固定化せず、まず優しくその人に寄り添うことから始め、利用者が暮らしの中で、その時、その瞬間、にもとめる心理、身体的状況を専門的知識を基に、その人に必要、または求める「正しい向き合い方」のケアの実現を目指していく必要があると考えています。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。